

事業計画書及び収支見積書（解体業）

令和 ●年 ●月 ●日

住 所 広島市中区国泰寺町一丁目 6 番 3 4 号

氏 名 株式会社 広島自動車

代表取締役 広島 一郎

(法人にあっては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)

令和 ●年 ●月 ●日現在作成

1-1 事業の全体計画（業務を行う時間、従業員数、休業日、扱う車種（乗用車、大型車）を含む。）

引取業者及びフロン類回収業者（●●商会等）から引取りを行った使用済自動車（乗用車及び大型車）を解体し、有用部品（エンジン、ドア、バンパー等）を回収し、中古部品業者及び金属商等に売却する。 エアバッグの回収等を行う。 解体作業に伴い発生した廃プラスチック類については、産業廃棄物処分業者に委託し、処分する。 解体自動車については、破碎業者（●●金属）に引渡しを行う。 各作業時間等は別添フローのとおり。（フロー概略図を添付（省略））					
（フロー概略図を添付）					
業務時間	8:00~17:00	従業員数	3人	休業日	日曜日・祭日

1-2 使用済自動車等の引取実績及び計画

年 度	30年度実績 (3年前)	29年度実績 (2年前)	28年度実績 (1年前)	許可取得後の 年 間 計 画
引取台数	480 台	510 台	500 台	700 台
主な引取先	●●販売株 ●●自工株	●●販売株 ●●自工株	●●販売株 ●●自工株	●●販売株 ●●自工株

1-3 解体実績及び計画

年 度	30年度実績 (3年前)	29年度実績 (2年前)	28年度実績 (1年前)	許可取得後の 年 間 計 画
年間処理実績	480台	500台	500台	600台
年間稼働日数	280日	280日	280日	280日
平均処理実績	1.7台/日	1.8台/日	1.8台/日	2.1台/日

1-4 解体能力

1日当処理能力	稼働予定日数	年間処理能力
3台/日	280日	840台

1-5 保管の状況

使用済自動車		解体自動車	
保管量の上限	40台 (0台)	保管量の上限	40台 (0台)
現在保管量	20台 (0台)	現在保管量	10台 (0台)

※ 事業所以外の場所で保管している場合は、その台数を内数で（ ）内に記入すること。

1-6 年間収支見積書

令和 ●年 ●月 ●日現在作成

項目		前年度 (2年) (決算月 (3月))		今年度の見込み (決算月 (3月))	
		年度 (千円)	(1台当) (円)	年度 (千円)	(1台当) (円)
売上高 (全体)	ア (総売上収入)	16,000	32,000	19,200	32,000
売上原価	イ (使用済自動車等購入費)	3,000	6,000	3,600	6,000
その他の経費	ウ	3,900	7,800	4,650	7,750
	うち廃棄物処理委託費 エ	2,500	5,000	2,970	4,950
営業利益	オ=ア-イ-ウ	9,100	18,200	10,950	18,250
営業外損益	カ (主に支払利息 (注))	△120	△240	△126	△210
経常利益	キ=オ+カ	8,980	17,960	10,824	18,040
使用済自動車等年間引取台数		500		600	
使用済自動車等年間処理台数		500		600	

(参考)

		前年度末	現在
負債総額 (年度末残高)	(千円)	5,000	4,500

(注) 1 「1台当」額は、売上原価は引取台数で、その他は処理台数で割ること。

- 2 使用済自動車等購入費は購入費をプラス、引取・処分料金を徴収した分はマイナスで計上すること
- 3 支払利息のみの場合又は支払利息が受取利息より多い場合はマイナスで計上すること。
- 4 前年度の欄は、前年度の決算書 (損益計算書、貸借対照表) を提出すれば記入を省略できる。